

## 平成28年教育委員会 第2回定例会

- 日 時 平成28年2月18日(木) 13時30分
- 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 出席委員 小澤教育長職務執行者、末永委員、笹谷委員、荒田委員
- 欠席委員 なし
- 出席職員 教育部長、教育部次長、教育部副参事、指導室長、指導室主幹、教育部主幹(適正配置担当)、教育総務課長、施設管理課長、学校教育課長、学校給食センター副所長、生涯学習課長、生涯スポーツ課長、教育総務課総務係長
- 傍聴人 なし
- 開 会 13時30分 閉 会 14時10分

### 議 案 第1号 小樽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案

- ・事務局説明

小樽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に規定する教育長職務代理者の印を定めるための改正案であり、平成28年2月29日から施行する旨の説明を行う。

- ・全委員一致により決定した。

### 議 案 第2号 小樽市いじめ防止対策審議会規則の一部を改正する規則案

- ・事務局説明

小樽市いじめ防止対策審議会規則の一部を改正する規則案について、小樽市いじめ防止対策審議会が原則公開であること及び非公開とする場合の規準を明確にするための改正案であり、公布の日から施行する旨の説明を行う。

- ・委員意見・質問

非公開とできる場合については、「小樽市いじめ防止対策審議会の運営に関する要領」案に掲げられているが、制限の範囲が幅広いようにも見受けられるので、恣意的な運用にならないよう留意してほしい旨の意見。

- ・事務局答弁

この審議会が開催されないことが一番望ましいが、児童生徒のプライバシー等に配慮するため、要領で非公開の条件を具体的に規定した旨、補足。

- ・全委員一致により決定した。

### 報 告 第1号 小中学校の学校再編について

- ・事務局説明

1月28日招集の教育委員会第1回定例会以降に開催した統合協議会等についての報告を行う。

2月3日開催の入船小学校・奥沢小学校・天神小学校統合協議会「第2回学校づくり部会」において、3校の校長が作成した新しい学校づくりの考え方について協議し、学校と地域、

家庭等が連携した取組や、恵まれた自然環境や教育資源を生かしたキャリア教育等を柱とする部会案をまとめた。

2月4日開催の花園小学校・入船小学校統合協議会「第2回学校づくり部会」において、両校の校長が作成した新しい学校づくりの考え方について協議し、両校の特色を生かした新しい学校づくりを進めることや花園小学校で取組んできた学校力向上に関する総合実践事業等を柱に、今後も検討を進めていくこととした。

2月9日開催の緑小学校・最上小学校・入船小学校統合協議会「第2回学校づくり部会」において、3校の校長が作成した新しい学校づくりの考え方について協議し、子ども、教師、家庭、地域がともに育つ学校、地域の自然の活用等を柱に、今後も検討を進めていくこととした。

2月9日開催の手宮地区小学校「第10回統合協議会」において、手宮中央小学校校歌の披露、平成28年度学校説明会資料の紹介、新たなPTA組織設立に向けた検討状況等を紹介した。

1月26日開催の西陵中学校 保護者・地域との地区別懇談会、1月27日開催の松ヶ枝中学校 保護者・地域との地区別懇談会について、まず、前回の定例会で報告した中央・山手地区の中学校の再編にかかる教育委員会の考え方として、中央・山手地区の中学校3校を2校に再編し、2校のうち1校は菁園中学校、もう一校は西陵中学校と松ヶ枝中学校の統合校とすること。西陵中学校と松ヶ枝中学校の統合校については、校区境界付近にあり、通学距離の平準化が図られること、施設が充実していることや小樽商科大学に近接するなど恵まれた教育環境にあることから、商業高校閉校後の学校施設を両校の統合校としたい。一定の理解を得た後、施設活用について平成28年度に入って北海道教育委員会へ正式な要望をしていきたいこと。隣接校との校区調整について、西陵中学校区の一部を長橋中学校と北陵中学校の校区とし、松ヶ枝中学校区の一部を菁園中学校の校区としたいこと。中学校3校と商業高校の施設の状況について、校舎建築年や耐震化等の状況、保有教室数、体育館やグラウンド面積のほか、小樽商業高校のグラウンドについては、校舎敷地から約320m離れた位置にあること等を説明した。

懇談会での主な質問や意見等について、①商業高校を統合校とする案となった経過、②最上小学校を統合校としなかった理由、③統合校ではどのくらいの期間、9学級が維持されるのか、④統合による通学距離の平準化は、西陵中学校より遠くになると感じるなどメリットがない、⑤統合校のグラウンドは校舎から離れており支障がある、⑥将来人口を見据え、もう少し様子を見てから大胆な統合を行ってもよいのでは、⑦中央・山手地区のことばかりではなく、隣接する地区についてどう考えているのか、⑧南小樽地区の中学校と合わせ、中央・山手地区の統合校がいつまで9学級が持続するのか、などの質問があった。

これらに対しては、①平成22年以降の経過について順を追って説明した旨、②昨年9月に北海道教育委員会で決定した公立高等学校再編計画も含め様々な角度から検討を重ね、商業高校とした旨、③平成36年度までで9学級以上と推計している旨、④どこからでも通いやすい、小樽商科大学のアクティブラーニングの施設が利用しやすくなるなどのメリットがある旨、⑤グラウンドまで教員の目が届かないことは認識しており、解決策を検討していきたい旨、⑥現在の計画は、遠い将来ではなく平成36年度までの計画期間の中で教育環境の

向上を図っていく考えである旨、⑦2040年までの将来人口を見越した様子見では、何もやらないことになる。平成36年度までの推計により最善を考え提案している旨、⑧人口減少が想定より進んでいるが、計画の見直しはもう少し状況を見てから行う考えの旨、それぞれ回答した。

- ・全委員が了承した。

## 報 告 第2号 耐震診断の結果について

- ・事務局説明

平成27年度に実施された桂岡小学校の耐震診断の結果について、建築物の耐震性能を数値化したI<sub>s</sub>値が0.22であり、耐震補強工事の目安である文部科学省の基準値0.7を下回っていること、今後は学校規模・学校配置適正化基本計画に合わせて耐震補強工事を実施する旨、報告する。

- ・委員意見・質問

- ①耐震診断の結果から桂岡小学校の統合計画を早めた方がよいという意見はないのか、という質問。
- ②この結果を受け、万が一の事態に備え、避難経路の見直し等早急に行ってほしい旨の要望。

- ・事務局答弁

- ①この結果は判断の要素の一つにはなる旨、答弁する。

- ・全委員が了承した。

## 報 告 第3号 平成28年度 学校給食費について

- ・事務局説明

平成28年度の学校給食費について、食材の価格動向等を検討し、小樽市学校給食運営協議会からの意見を聴取した結果、平成27年度同額と決定した旨、報告する。

- ・委員意見・質問

センターの電気料金や輸送コストが下がっている状況は、給食費に反映されないのか、との質問。

- ・事務局答弁

給食費はあくまでも食材費に充当されるものであり、電気料金等のコストは設置者の負担である旨、答弁。

- ・全委員が了承した。

## その他

### 寄附採納について

- ・事務局説明

図書館の図書充実のためにそれぞれ3万円相当、2万円相当の新刊図書、記念事業として手宮小学校へ2万円相当の児童用図書の寄附があったことを報告する。

(非公開で審議)

**議案 第3号 教職員の人事異動の内申について**

- ・事務局説明

教職員の人事異動の内申について説明を行い、全委員一致により決定した。

**議案 第4号 職員の措置について**

- ・事務局説明

職員の措置について説明を行い、全委員一致により決定した。

(非公開の審議を終了)